

公表：令和 6 年 11 月 22 日

事業所名

放課後等デイサービス という

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			教材等は必要に応じて出し入れし、スペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			常時規定定数の配置をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		日本家屋の借家であり、変更ができないが、できる限りの配慮をしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			研修を多く取り入れている。PDCA→SPDCAへとし、必要に応じて見直しをしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			第三者委員による評価を行い、業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	<input type="radio"/>			自己評価の結果は、年1回必ずホームページにおいて公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			第三者委員に各種委員会メンバーとして評価をしてもらっている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			毎月課題を決め実施している。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			児童発達支援管理者からのアセスメント情報をもとに、職員全員で支援会議を行い、サービス計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			年一回必ず実施するようにしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			現場の指導員の発案を元に職員総意の上決定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			教材研究を重視している。各職員が新教材を立案している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			利用時間の長短を考え、計画をしている。長期休暇等でなければできない療育活動を取り入れている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			一人ひとりの児童の特性にあった活動を計画している。特に感情に左右されやすい児童への対応もしている。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼時、前日の振り返りと当日の流れを確認し、すべき業務の再認識をしている。随時変更が必要な場合も連携している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			大まかな申し送りを行い、日誌に記載、職員連絡ノートに記載し共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別日誌を重視している。当日の様子を言葉も含め拾い出しをしている。常に振り返りを行い、改善すべきことや対応の仕方を共有し、質の均一化をはかっている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			職員全員で6ヶ月毎の見直しをしている。新規者は4ヶ月まで毎月実施し支援目標の見直しをしている。期限に限らず、必要時にもモニタリングしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			支援目標の中にも複数の基本的活動を組み入れている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			保護者、相談員、児発管、チームリーダーが参画している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			年度初めに学校を訪問し、情報の共有を依頼している。今後も学校や保護者との連携を図っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	必要に応じて対応を図るようにしている。現状は保護者・学校・相談支援事業所との連携ですんでいる以外に行政（市役所・児相）の力を活用している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		必要に応じて情報提供しているが、殆ど保護者と相談支援事業所、学校で対応が済んでいる。

	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		研修には積極的に参加するようにしている。専門機関とは必要に応じて指導・助言を受けている。	
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		児童館の活用、外レク等で交流する場面はある。	
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○		協議会のあることは知っているが、現状は参加していない。	
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談、連絡帳、電話等で細やかな対応を図っている。	
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			必要な助言を行い、対応の仕方を伝え実践してもらっている。その後の状態の把握もしている。事業所等からの情報を得てパンフレット等を保護者に配布している。	
	保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、契約更新時に行っている。
		③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談事は必ず受け入れ、面談を通して行っている。緊急時は電話対応もしている。
		③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			全員参加を目標に保護者の意向を伺いながら今後も保護者同士の連携を図っていきたい。
		③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			現状苦情の申し出はないが、相談等は適切に対応している。
③⑭		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月配布し、活動を明確化している。連絡帳を活用し、必要に応じて利用日に記載している。	
③⑮		個人情報に十分注意しているか	○			職員にも守秘義務について研修を行い、注意している。	
③⑯		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			障害の状態に合わせた配慮を心がける。	
③⑰		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		行事に招待することのイベントはないが、地域の文化展等に参加している。	

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各種委員会に保護者の代表にも参加してもらっており、3ヶ月に一度会議を行っている。職員研修を行い、周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		職員訓練と児童を含めた訓練を実施している。搬出法も児童に体験させている。より訓練成果を確認するための抜き打ち訓練もしている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎年県の研修に参加し、局員での研修を実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		開設後、シートベルトの複数着用以外にはなし。外す、抜け出す等の行為があり、命を守る為、一年程実施。保護者には説明と承諾をもらっている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	医師の指示書はないが、アセスメントにおいて保護者申請によって行っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告・報告書作成後、職員研修を実施し、改善計画を立案している。

公表：令和6年11月22日

事業所名 放課後等デイサービス といろ

児童数 13 回収数 13

		チェック項目	はい	どちら も いい ない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	2		古民家に合わせた手立てができています。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	13			
	⑤	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	13			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	9		
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13			
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮がなされているか	13			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13			
⑭	個人情報に十分注意しているか	13				

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。	13			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13			
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	13			